

**令和7年第1回 岩沼市議会定例会
一般質問(個人)通告一覧表**

質問 順番	議席 番号	議員氏名	質問事項及びその要旨	答弁者
3	10	渡 辺 ふさ子	市長の政治姿勢について 1. 市長の施政方針から疑問点、危惧する点について伺う。 (1) 「行財政改革の推進」の中に、「児童館・児童センターにおいては、民間のノウハウによるサービス向上の期待などにより、指定管理者制度等の導入を検討する」と述べている。 しかしながら、児童館は、「全て国民は、児童が良好な環境において生まれ、かつ心身ともに健やかに育成されるよう努めなければならない。」という児童福祉法の理念に基づき、それを地域社会の中で具現化する児童福祉施設であり、18歳未満のすべての子どもを対象とし、遊び及び生活の援助と地域における子育て支援を行い、子どもを心身ともに健やかに育成することを目的となっている。職員は「児童厚生員」としての専門的スキルも求められるものであり、安易に民間事業者に任せてよいものではないと考えるが、見解を伺う。 (2) 「利便性が高く魅力的なまちづくり」の中の防災対策について、「国は事前防災の充実や避難所における生活環境の向上等の各種防災施策を展開する予定としていることから、市全体の防災力向上に取り組む」などと述べている。避難所における生活環境の向上として、体育館の空調整備を防災対策として位置付け、計画に盛り込んではどうか伺う。 (3) 岩沼市民体育センター跡地の利活用について、民間事業者への貸付による利活用の検討を進めていると述べている。 しかし、体育センター跡地は市役所向かいの貴重な公共ゾーンの土地であり、市民の財産である。市民のニーズにより、市が利活用を進めるべきではないか。民間事業者には利益が伴う。市民会館駐車場の民間事業者貸付のように、利用者が過重な負担を強いられ、民間事業者の儲けに資することは避けるべきではないか、考えを伺う。 (4) 農業水利施設に対する原油高騰対策支援につ	市 長 教育長

(同)	10	渡 辺 ふさ子	いて、「農業者支援の観点から電気料金高騰分の4分の1を受益市で助成する方向で調整している」と述べている。 ① 岩沼市の助成額はどの程度と見込んでいるか伺う。 ② 4分の1では少くないか、助成額を増額するよう仙台市、名取市と調整はできないか伺う。 (5) 学校給食費の改定について、昨年4月に1食当たり、小中学校とも40円ずつ値上げし、その値上げ分は交付金を活用し補助を行うことで保護者の負担を軽減してきた。しかし「本年4月からはそれぞれさらに40円値上げし、小学校380円、中学校430円に改定する」と述べている。しかも負担の軽減について一言も述べていない。他市町では給食費無償化や一部補助が広がっている時に、物価高騰とはいえ、値上げは子育て支援に逆行するのではないか、無償化の方向に舵を切り替えるべきではないか伺う。 2. 昨年12月定例会で報告のあった、年金受給者を支援するための物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用した高齢者への日用品の支給が行われ、順次65歳以上の高齢者がいる世帯に届いている。高齢者への日用品の支給について、さまざまな意見があり、以下の点について伺う。 (1) 1世帯当たりの費用について、物品代、梱包代、送料及び合計金額をそれぞれ伺う。 (2) この事業全体の事業費を伺う。 (3) 取り扱い業者について、岩沼市高齢者日用品支給事業事務局となっているが、住所が仙台市青葉区花京院である。岩沼市内の業者に委託はしなかったのか伺う。 (4) よく吟味して選定した品物と思う一方、税金の無駄遣いとの声もある。物価高騰で市民がやりくりしている時に、商品券とか、補助金としての振込など、市民が必要に応じて自由に使えるような方法、選択肢はなかったのか伺う。	市長 教育長
4	5	植 田 美枝子	<u>介護予防事業について</u> 1. 健幸いきいき広場について (1) 月当たりの開催件数と参加人数を伺う (2) 開催を始めてからの参加人数の推移を伺う。	市長

(同)	5	植 田 美枝子	(3) 事業の成果と課題をどのように捉えているか伺う。 2. 地域介護予防助成金について (1) 助成金の交付実績を伺う。 (2) 助成金を申請していない教室・サロンを把握しているのか伺う。 (3) 交付基準をもう少し緩めてはどうか伺う。 3. 地域包括支援センターで開催している各種介護予防講座について (1) 年の開催件数と参加人数を伺う。 (2) 毎回講座内容は違うのか伺う。 4. お買い物ミニデイ事業について (1) 事業の開始時期と内容を伺う。 (2) 参加人数の推移を伺う。 (3) 利用手順を伺う。 5. 今後の介護予防事業について (1) どのように充実していくのか伺う。 (2) 新しい事業の実施予定はあるのか伺う。	市 長
			後期高齢者の健康診査・歯科検診事業について 1. 宮城県全体（集団・個別・併用）の受診割合は、健康診査が令和4年度 28.9%、令和5年度 30.2%、歯科検診は、令和4年度 15.3%、令和5年度 17.5%と低い数字になっている。岩沼市の受診率を伺う。 2. 健康診査や歯科検診を実施している市町村には国から経費の支援がある。受診率向上のため、最大限に活用すべきと思うがどうか伺う。	市 長
			医療費適正化について 1. 通いの場での健康教育や運動指導に加えて、通院や服薬の実態の把握に努めてはどうか伺う。 2. 組織や集団に働きかけて健康上のリスクを下げる取組であるポピュレーションアプローチにより健康リスクを抱えた人を発見し、保健師等の個別訪問（ハイリスクアプローチ）につなげてはどうか伺う。	市 長
			ナッジ理論の活用について 1. 介護予防事業への参加促進や医療費の適正化のためにナッジ理論を活用してはどうか伺う。 2. デザイン性の高い健康診査の受診勧奨通知を作成して高齢者に受診の必要性を分かりやすく伝えることで受診率が上がると思うがどうか伺う。 3. 医療費の増加の推移をグラフなどで分かりやすく	市 長

(同)	5	植 田 美枝子	して、健康保険制度の危機が来ている事実を正しく伝えてはどうか伺う。 4. 入れ歯の定期的なメンテナンスなど、口腔ケアも重要だと分かるチラシを作って活用してはどうか伺う。	市 長
			空き家対策について 1. 現在の状況について (1) 市内の空き家の状況についてどのように捉えているのか伺う。 (2) 空き家を他人に活用してもらおうと思えるような啓発をすべきと思うがどうか伺う。 (3) 岩沼市空き家対策セミナーについて ① 今までに何回開催し、参加者は何人か伺う。 ② 成果と課題をどのように捉えているか伺う。 (4) 当市にも空き家バンクが必要と思うがどうか伺う。 (5) 岩沼市空き家対策条例を作成すべきと思うがどうか伺う。	市 長
5	4	高 梨 明 美	農福連携等の推進について 農福連携は、障害者の農業分野での活躍を通じて、自信や生きがいを創出し、社会参画を促す取組である。令和6年5月に改正食料・農業・農村基本法が成立し、新たに農福連携が位置づけられた。また、同年6月に政府の「農福連携等推進ビジョン」が改訂され、2030年度までに農福連携等に取り組む主体数を12,000以上、地域協議会に参加する市町村数を200以上とすることを目標に掲げた。そこで、農福連携について伺う。 1. 本市の取組について (1) これまでの取組を伺う。 (2) 取組における成果と課題を伺う。 2. 認知度の向上について (1) これまでの取組を伺う。 (2) 農福連携がもたらす効果を、農業協同組合、社会福祉協議会、農業委員会等にどのように発信してきたか伺う。 (3) 新規就農者に対して、農福連携の意義と強みをどのように発信してきたか伺う。 (4) 昨年1月に宮城県では「農福連携推進セミナー」を開催している。同様のセミナーを本市でも開催してはどうか伺う。	市 長

(同)	4	高 梨 明 美	3. 推進に向けた新たな取組について (1) 地域単位での仕組みづくりについて ① 本市は平成 31 年から農福連携推進ネットワーク会議に加入しているが、どのような取組をしてきたか伺う。 ② 市内で農福連携推進ネットワーク会議に加入している団体数を伺う。 ③ 農業と福祉の情報交換や理解を深めるため、さらなるネットワークづくりが必要ではないか伺う。 ④ 農業協同組合、社会福祉協議会、農業委員会、岩沼市障害児者地域自立支援協議会などが連携して地域協議会を設立してはどうか伺う。 ⑤ 庁内横断的な農福連携のプロジェクトチームを設置してはどうか伺う。 4. 障害者等が働きやすい環境の整備のため、障害特性等を踏まえた農福連携等の実践方法をアドバイスする農福連携技術支援者の育成をしてはどうか伺う。 5. 地域における多様な連携の推進や専門人材の育成と活躍の場の確保のため、障害者就労施設等と企業との連携によるノウフク商品のブランド化やノウフク J A S の認証取得の推進をしてはどうか伺う。 6. 新たな価値の発信とユニバーサルな取組への進化について (1) 11 月 29 日のノウフクの日について ① 関係団体・企業等が連携した普及啓発を推進してはどうか伺う。 ② 本市で先進的に取り組んでいる法人について、市内全域にお知らせしてはどうか伺う。 (2) エシカル消費に関心のある若年層向けに SNS 等で情報を発信してはどうか伺う。 (3) 障害者のみならず、高齢者、生活困窮者、ひきこもりの状態にある者等、社会的に支援が必要な方の農福連携等への参画を推進すべきではないか伺う。 (4) 分野を農業のみならず林業や水産業に広げる農福連携等を 2 市 2 町の広域で推進してはどうか伺う。	市 長
6	2	西 塚 秀 市	<u>岩沼市民体育センター跡地の利活用について</u> 1. 解体について	

(同)	2	西 塚 秀 市	(1) 解体開始日及び完了予定日について伺う。 (2) 解体費用を伺う。 (3) 今後、資材価格や人件費等の高騰により解体費用が増加する可能性はあるか伺う。 2. 跡地の利活用について (1) 今後の利用目的等について、どのように考えているのか伺う。 (2) 市民体育センター跡地の利活用のW e b アンケートについて ① この選択肢とした経緯を伺う。 ② 選択肢にコミュニティセンターが入っていなかったが、それはなぜなのか伺う。 ③ このほかに周辺地域住民の意見交換会は行われるのか伺う。 (3) 施政方針に「民間事業者への貸付による跡地利活用の検討を進めている。」とあったが、どのような企業を考えているのか伺う。 3. 跡地への防災拠点の設置について (1) 現在の岩沼市における福祉避難所の状況について伺う (2) 災害時要支援者や、ヘルプマークを持っている方々の一時的な避難所シェルターとしても活用できる災害時のハブ的拠点として、防災備蓄倉庫を備えたコミュニティセンターなどを建設すべきだと思うが、考えを伺う。 (3) 現在、体育センター北側に保健センターがあるが、地震などの災害時にはこの保健センターがある程度の重要拠点となると考える。災害発生時にはどのような体制となるのか伺う。	市 長
			<u>岩沼市シルバー人材センター公用地の使用状況について</u> 1. 令和5年第4回定例会で、岩沼市シルバー人材センター公用地にある地区労会館について質問し、「契約更新の際にシルバー人材センターや消防団とか町内会等に関しまして、今後の利用予定などについてお話を伺えればと思う。」との答弁があったが、進捗を伺う。 2. 今後の方針を伺う。	
	7	岡 田 みつえ	<u>認知症対策について</u> 1. 認知症基本法が昨年1月に施行され、県や市町村の認知症施策推進基本計画の策定は努力義務とな	

(同)	1	岡 田 みつえ	った。岩沼市として策定と啓発に努め、施策の推進に力を尽くしてほしいが、考えを伺う。 2. 基本法の基本施策「認知症の人に関する国民の理解の増進等」について、「国民が共生社会の実現の推進のために必要な認知症に関する正しい知識及び認知症の人に関する正しい理解を深められるようにする施策」とある。そこで市の取組を伺う。 (1) 学校での取組について ① 認知症を理解するための取組を伺う。 ② 認知症サポーター養成講座の取組について ア 教職員への養成講座について、令和6年第4回定例会での同僚議員の質問に対し、「実際に体験することというのは大事なことで、なというふうに思いますので、どのような機会を捉えてできるかどうかも含めて、研究させていただきたいと思います。」との答弁があった。現在の進捗状況を伺う。 イ 小中学生への取組について (ア) 令和6年第4回定例会において「小学校1校と中学校4校では、小学校6年生・中学校1学年を対象に、認知症サポーター養成講座を実施しております。」との答弁があったが、市内の全小中学校で実施してはどうか伺う。 (イ) 養成講座の実施対象としている小学校6年生・中学校1学年から対象学年を広げてはどうか伺う。 (2) i あいメールの対応について ① 検索協力サポーターの登録者数を伺う。 ② 今年度、行方不明となり、メールを発信した件数は何件か伺う。 ③ その際、どのように対応したのか伺う。 ④ 令和6年第4回定例会で「例えば、認知症サポーター養成講座や出前講座、場合によっては市のイベント、例えば、二十歳の集いなどに周知のほうを行って、市民の見守りの目を増やしていく必要があると考えております。」との答弁があったが、実際に行った登録者数拡大の取組を伺う。 ⑤ 行方不明高齢者を検索する際の市外の関係機関との連携について伺う。	市 長 教育長
-----	---	---------	---	------------

(同)	1	岡 田 みつえ	⑥ 市外居住者も登録できるとのことだが、周知の方法について伺う。 ⑦ 令和3年10月22日に、搜索協力サポーターを対象にした搜索模擬訓練を行っている。そこで、令和7年度も模擬訓練を行ってはどうか伺う。 3. 基本法の基本施策「相談体制の整備等」には、「認知症の人又は家族等からの各種の相談に対し、個々の認知症の人の状況又は家族等の状況にそれぞれ配慮しつつ総合的に応ずることができるようにするために必要な体制の整備」「認知症の人又は家族等が孤立することがないようにするための施策」とあるが、市の取組を伺う。 (1) 今年度の相談体制と実績について伺う。 (2) 認知症の高齢者は団塊ジュニアの世代が65歳以上になる2040年には584万人余りに上るという推計を厚生労働省の研究班がまとめた。これは高齢者のおよそ16%、6.7人に1人に当たる。市の現状と2040年問題に向けた対応を伺う。 4. 基本法の基本的施策「認知症の予防等」には、「希望する者が科学的知見に基づく予防に取り組むことができるようにするための施策」「早期発見、早期診断及び早期対応の推進のための施策」とあるが、市の取組を伺う。 (1) 早期発見について ① 発症前の軽度認知障害(MCI)の段階での対応が大事と考える。令和6年第4回定例会で「まずは、軽度認知障害MCIについて、より多くの方々に知ってもらうことが重要であると考えております。」との答弁があったが、答弁を踏まえて、どのような取組をしたか伺う。 ② 関係機関と連携して「認知症チェックリスト」を活用した対応も必要と思うが見解を伺う。 (2) 認知症の進行を防ぐ対策として市で行っている取組を伺う。	市 長 教育長
8	14	沼 田 健 一	<u>岩沼市地方創生総合戦略（案）について</u> 1. 第1期、第2期との相違点はあるのか伺う。 2. 岩沼市総合計画との整合性を考えていると思うが、総合計画を具現化しただけと理解していいのか伺う。	市 長 教育長

(同)	1 4	沼 田 健 一	3. 今までのPDCAサイクル検証委員会の評価をどの程度参考にしたのか伺う。 4. 低い目標を設定し、実績値を出しやすいようにしているのではないのか伺う。 5. 地方創生関連の交付金について上限はあるのか伺う。 6. 国の地方創生 2.0 で基本構想の 5 本柱が示されたが、岩沼市の総合戦略はそれが十分に反映されたものなのか伺う。 7. 人口動態と移住定住の促進について、本市へ移り住みたくする施策や的確なシティプロモーション効果が期待できる具体的な戦略を伺う。 8. 学校を核とした教育機会の充実について、主な取組における第 2 期の反省点と今後の具体的な取組について伺う。 (1) 学校教育目標推進事業について伺う。 (2) 岩沼に愛着を持つ人材育成事業について伺う。 (3) 地域学校協働活動について伺う。 (4) 学びの多様化に係る運営事業について伺う。 (5) 小・中学校情報教育推進事業について伺う。	市 長 教育長
9	1 1	佐 藤 一 郎	帯状疱疹予防接種、がん検診などについて 1. 厚生労働省の予防接種・ワクチン分科会において、令和 7 年 4 月から帯状疱疹が予防接種法上の定期接種（B 類疾病）に位置付けられる。定期予防接種となる帯状疱疹ワクチンの実施内容について伺う。 (1) 対象要件について伺う。 (2) 国の補助率について伺う。 (3) 受入れ医療機関は、市内、市外とでどのように考えているのか伺う。 2. 令和 7 年度がん検診における胃の内視鏡検査の実施内容について伺う。 (1) 対象要件について伺う。 (2) 今までのバリウム検査実績を踏まえ、再検査内視鏡検査件数をどの程度見込むのか伺う。 (3) 内視鏡検査の受入れ医療機関は、市内、市外とでどのように考えているのか伺う。 (4) 市民への周知はどのように考えているのか伺う。 3. 15 歳から 39 歳の若い世代のがん患者「AYA 世代」の対応について伺う。 (1) 小・中学校のがん教育について伺う。	市 長 教育長

(同)	1 1	佐 藤 一 郎	(2) 「AYA世代」のがん検査、治療、療養、予防・検診のためのマニュアルを作成して周知してはどうか伺う。 (3) 「AYA世代」がんの支援のため、関係医療機関などで情報交換を考えるべきではないかと思うがどうか。	市 長 教育長
1 0	9	布 田 恵 美	地域防災力の向上について 1. 防災士活用について伺う。 (1) 岩沼市では、個人取得や市の助成制度活用、職場の支援制度などにより、防災士資格取得者が年々増加している。その活用について、これまでも一般質問で取り上げている（平成 29 年第 1 回定例会、同第 3 回、令和元年第 3 回、令和 4 年第 3 回）が、様々な災害が各地で発生する中で、防災士の活用について市として新たに考えていることはないのか伺う。 (2) 昨年 12 月 21 日には、防災士・宮城県防災指導員意見交換会が開催され、講話を通じての研修と市内在住防災士の事例発表を聴講した。参加者からは「市の助成制度を活用して防災士として資格取得をしたものの、どのように活動していったらよいのか分からない。」という声もあった。防災士資格取得がゴールではなく、新たな災害へ対しての知識や実習を通じてのアップデートが必要であるが、その部分がうまく機能していないと感じた。そのフォローアップについては、どのように考えているのか伺う。 (3) 以前、市内在住防災士に対してアンケート調査を行っている。その結果をデータベース化していると思うが、更新はどのように行っているのか伺う。 (4) これまでも提案してきているが、防災士資格取得者の組織づくりについて呼びかけてはどうか。例えば、研修の場などで、参加者へ呼びかけ、意識が高く積極的に活動できる方々を募り、自主的な組織として立ち上がれるよう、行政としても後押していく体制づくりを進めてはどうか。 2. 要配慮者支援について、以下の点について伺う。 (1) 外国人向けのハザードマップ作成について伺う。 ① 必要という声はないのか伺う。	市 長 教育長

(同)	9	布 田 恵 美	② 現在、市内に 715 名（令和 7 年 1 月 31 日時点）の外国人住民が居住している。市内で暮らす技能実習生や留学生など、今後も増加することが想定される。そういった方々の減災対策としてスマートフォンアプリの活用など、何らかの対応を講じてはどうか。 (2) 宮城県では、令和 7 年 2 月 7 日付けの記者発表で「女性の視点“も”活かしたわたしたちの備えるブック」の発行を発表した。市のサイトの防災に関するページにリンクを貼って情報を共有したり、岩沼市公式ラインなどでの共有を行ってはどうか。 3. 避難所での防災備蓄品などの定期的な入替えについて (1) 防災備蓄品の廃棄やフードロスを回避しながら、新たな防災備蓄品の購入財源を確保することにつながる仕組みとして、備蓄品を「メルカリ Shops」を通じて販売してはどうか。 (2) 生理用品について、以前、備蓄の箱入り生理用品の状況を見せてもらったことがある。保管期限が外箱に印字されており、備蓄品として避難所に配置されていた。避難時に開封して、必要に応じて配布、利用されると聞くが、品物の性質上、下着同様、肌に触れるものであり、また日々改良されて新しいものほど機能的になっている。その点を踏まえて、保管期限を待たずに定期的な短いサイクルで入替えを講じ、学校や公共施設などの女性トイレ個室に設置してはどうか。	市 長 教育長
			投票率向上について これまでも投票率向上についての取組に関して取り上げてきた。公営掲示板の設置場所の変更や、掲示箇所のナンバリングなど、改善が進んできたこともあるが、投票率向上には大きな変化がなく、民主主義社会において、この投票率低下は危機感すら感じる。昨年 10 月 27 日執行の衆議院議員選挙投票率では、岩沼市が含まれる宮城第 3 選挙区において、当市は 4 市 9 町中最下位の 52.64%の投票率となっている。 (1) その数字や順位について、どのように考えているのか伺う。 (2) これまで、投票率向上につながるような取組として試行してきたことはあるのか伺う。	市 長 選挙管理委員長

(同)	9	布 田 恵 美	(3) 選挙管理委員会の中で、岩沼市における低投票率についてどのように議論されてきたのか伺う。 (4) 期日前投票期間において、移動投票所開設を以前から提案してきた。地域において、高齢化率が上がり、運転免許返納やマイカーを手放し、移動手段を持たない方も増え、市役所6階での期日前投票にタクシーを使って出向く方もいらっしやると聞く。今後、移動手段の支援など何か新たな取組を行ってはどうか。	市 長 選挙管理委員長
			<u>ハナトピア岩沼リニューアルについて</u> 昨年11月29日に議員全員協議会において、ハナトピア岩沼リニューアル平面図が公表され、その後、市民の皆さんからの意見も聴取してきた。その中からの提案をする。 1. 屋外トイレの設置について (1) 多くの方々に場を得ては、リニューアル内容の報告をしてきた。その中に、これまで駐車場にあったトイレについては撤去されとの資料説明もあり、「ウォーキングに親しみながら健康維持に努めているが、散策時に使えるトイレが少なく、不自由している。特に、冬季間、凍結対策で使用停止になっている公園トイレもある。」との話もあった。屋内にはトイレがあるが、屋外のトイレも健康上必要なものだと考える。その点について考えを伺う。 (2) 屋外のトイレ設置を是非考えてほしいと願うがいかがか。 2. 紙オムツ販売について 昨年12月定例会で、高梨議員の一般質問にもあったが、ハナトピア岩沼の遊び場整備エリアにおいて、紙オムツ自動販売機は設置せずに受付場所で必要な枚数を販売する、と聞いている。私が6年前からこれまでに視察してきている福島県や山形県などの類似施設では、通路にある飲料水などの販売機内に紙オムツ、お尻拭きが並んで販売されていた。乳幼児の遊び場で、必要な時に手近で迅速に手に入れられることが利便性向上につながり、利用者に喜ばれると思うが、その点について考えを伺う。	市 長
1 1	6	佐 藤 剛 太	<u>岩沼市地方創生総合戦略(案)について</u> 1. 人口維持・移住定住者の拡大について (1) 将来の新たな宅地確保について	市 長

(同)	6	佐藤 剛太	① 先日の議員全員協議会にて、「土地区画整理事業ができる可能性がある土地を調査し、市内2区画、約60ヘクタールを選定した」と報告があった。2区画を選定した理由を伺う。 ② 今後、さらに拡大する可能性はあるのか伺う。 ③ 選定された2区画の土地を県の認可を受けて土地区画整理事業を行い、宅地として分譲するまでは、おおよそどれぐらいの時期になると考えているのか見解を伺う。 ④ 現在、東部地区などで既存市街化区域内に道路やインフラの整備を行い、民間住宅開発を行っているが、現在市内には同様の既存市街化区域内に小規模な開発を行える土地はどれくらいあるのか伺う。 (2) イメージアップ戦略について ① 施政方針に「ターゲットを明確にしたプロモーションを一層強化するため、内容を見直すとともに効果的な市のイメージアップを図る」とあるが、今後の取組を伺う。 ② これまでシティプロモーションなどを通して、市のイメージアップを図ってきたが、これまでの成果をどのように捉えているのか見解を伺う。 (3) 子育て支援について 本市は、人口減少・少子高齢化の進行に歯止めをかけるために年少人口の世帯の確保に向けて、積極的な子育て支援などに取り組んでいるが、令和6年度の実績と令和7年度の新たな取組を伺う。 (4) 本市独自の支援・支援策の導入について 現在、県からの認可を受けて仙台市・名取市・富谷市・利府町は、新たな宅地確保に向けて土地区画整理事業を行い、おおよそ3年から4年後には新たな宅地の分譲を始める。その中で当市が人口を維持するためには、これまでの施策に加えて、移住者や移住される方を雇用する事業者、または宅地などを開発する事業者に向けた補助金などの支援を講じるべきと考えるが見解を伺う。 2. 安定した雇用について (1) 地域産業の活性化を図るとともに、農・商・工	市長
-----	---	-------	---	----

(同)	6	佐藤 剛太	業など各産業を発展させる基盤整備、経営・創業支援の充実についての取組を伺う。 (2) 仙台空港等を生かした産業振興について、今後の取組と見通しを伺う。 ① 矢野目西地区の開発について伺う。 ② 岩沼インター周辺の開発について伺う。 ③ 仙台空港周辺地域活性化施設の整備について伺う。	市長
			組織の見直しについて 1. 令和7年度からの、政策部への市長公室の新設、都市政策課の移管及び子ども家庭センターを新設する組織の見直しについて伺う。 (1) 行政改革を進めている中で、毎年組織の見直しを行っているが、効果をどのように考えているのか見解を伺う。 (2) 各課の役割や人員数等を伺う。 ① 市長公室について伺う。 ② 都市政策課について伺う。 ③ こども家庭センターについて伺う。 ④ 児童館・児童センターの指定管理者制度について伺う。 (3) 退職者の増加などの影響で職員数が少なくなると思われるが、今後の市民サービスや各部署の職務分担や業務量に偏りは生じないのか見解を伺う。	市長
12	13	飯塚 悦男	学校教育について 教育基本法に記されている教育の目的は「人格の完成」である。「思いやり」こそが、人格を形成する重要な要素であり、また、学校教育は「思いやり」を育む場でもあります。 令和6年度岩沼市教育目標の「Iたくましさやさしさを培う学校づくりの推進」には、「創造的で特色ある学校づくりを推進し、児童生徒の充実した学校生活の実現を期する。社会の中で自他を認め、多様性を互いに尊重し合い、新しい時代を力強く生きるための土台となる、思いやりや社会性、基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得を図り、自らの夢や志を持ち、それに向かい学習に取り組めるよう、「子どもの未来を広げる教育」の一層の充実に努める。 また、ICT教育を推進し、情報活用能力を身につけ、自ら考え行動する創造的な人材育成に努める。」	教育長

(同)	13	飯塚悦男	と掲げられている。 1. 「夢やあこがれをはぐくむ学校づくり」について (1) 「学力向上の着実な推進について」「学びの個別最適化と協働的な学びによるきめ細やかな指導の推進」について、どのような考えの下、どう取り組んでいるのか伺う。 (2) 「夢やあこがれをはぐくむ教育活動の展開」について ① 「子どもの未来を広げる学校づくり推進事業の充実」について、どのような考えの下、どう取り組んでいるのか伺う。 ② 「志教育の充実による適切な進路指導及び地域と連携したキャリア教育の推進」について、どのような考えの下、どう取り組んでいるのか伺う。 (3) 「伝統・文化の尊重と国際理解をはぐくむ教育の推進」について ① 「環境教育・ふるさと教育の推進」について、どのような考えの下、どう取り組んでいるのか伺う。 ② 「国際理解教育の推進」について、どのような考えの下、どう取り組んでいるのか伺う。 2. 「豊かな人間性や社会性、健やかな心身の育成」について (1) 「自他の命と人権を大切にし、思いやりやいたわりの心をはぐくむ道德教育の推進」について、どのような考えの下、どう取り組んでいるのか伺う。 (2) 「望ましい生活習慣の育成及び食育の推進」について、どのような考えの下、どう取り組んでいるのか伺う。 3. 「学びの多様化に応じたきめ細かな教育の推進」に掲げる「一人ひとりのニーズに応じた教育の充実」について、どのような考えの下、どう取り組んでいるのか伺う。	教育長
13	3	大村晃一	<u>これからの子育て支援について</u> 1. 第3期岩沼市子ども・子育て支援事業計画（案）について (1) 前任者の内容を引き継ぐ形ではなく、自分の考えや想いを反映できる計画となるが、日々子育て支援に力を入れている市長の計画に対する想い	市長 教育長

(同)	3	大 村 晃 一	を伺う。 (2) 時代の変化とともに計画内容も変化していくと思うが、第2期との大きな違いは何か伺う。 (3) パブリックコメントについて ① 現在、市民や市内勤務者・在学者などからパブリックコメントを募集しているが、ある程度の案が出来上がり内容も固まっている中で、意見をどのように反映するのか伺う。 ② 1月27日から意見公募が始まったが、現在どの程度の意見が届いているのか伺う。 ③ SNSやデジタルを活用した意見の提出方法も必要と思うが見解を伺う。 (4) 岩沼市子ども子育て支援事業計画と紐づく形になると考えられる岩沼市こども計画について ① 計画策定のためのアンケート調査について ア 小学5年生及び中学2年生の児童・生徒とその保護者、15歳から17歳までの高校生年齢相当の方、加えて18歳から39歳までの無作為に選ばれた2,000人が対象だったが、全体での合計人数と回収率はどの程度か伺う。 イ 未就学児の子どもを育てている保護者もアンケート対象としている自治体も多くあるが、本市は対象に含まなかったのはなぜか伺う。 2. こども・子育て支援パッケージについて (1) 第1弾について ① 第2弾へ継続となる事業や取組もあるが、これまでの効果や評価を伺う。 ② 待機児童の解消として、私立幼稚園の認定こども園への移行が進んでいる。岩沼こぼと幼稚園は令和6年度整備、7年度受入れ開始となっているが、状況を伺う。 ③ 保育所と放課後児童クラブにおけるアプリ導入は令和6年度は試行的期間として保護者や保育士などから意見を聴取し、令和7年度から本格導入の予定となっていた。試行導入の状況と今後の予定を伺う。 (2) 第2弾について ① 「おむつ“あんしん”お届け隊」について ア 配達是谁が行うことになるのか伺う。 イ 定期的な見守りも兼ねての配達だと思う	市 長 教育長
-----	---	---------	--	------------

(同)	3	大 村 晃 一	が、頻度はどの程度なのか伺う。 ② 令和4年7月定例会、令和6年2月定例会の一般質問で、一時預かり保育の対象年齢拡大の必要性について提案をした。当時の執行部答弁では「保育士の確保等が課題となり、実現には至らない。」とのことであったが、今回実現に至った経緯を伺う。 ③ 子育て支援センターの土曜日の試行的開放について詳細を伺う。 ④ 保育所等の医療的ケア児受入れについて ア 該当すると思われる人数は何名か伺う。 イ 受け入れる保育所等はどこになるのか伺う。 ⑤ こども家庭センター設置について ア 対応窓口はどこに設置予定なのか伺う。 イ 人員配置はどのようなになるのか伺う。 3. 疑似体験の機会の提供について 女性の妊娠や生理についての理解を多くの人に広めることも、子育てしやすいまちづくりの環境整備へつながると考える。そこで、妊婦や生理痛などの疑似体験ができる機会を設けてはどうか伺う。 (1) 妊娠期において、配偶者やパートナーなどと一緒に伴走型相談支援事業をはじめとする行政の各種相談窓口やサービスを利用する市民もいると思うが、そのような機会に、男性の子育てへの参加促進の目的も兼ねて体験ができる場を設けてはどうか伺う。 (2) 妊娠期以外の方でも体験できるように、各種イベントや行事など、人が集まる場に体験ブースなどを設けてはどうか伺う。 (3) 命の大切さや子育てをする親の気持ちを学んでもらう場として、学校教育の中で機会を設けてはどうか伺う。 4. 子育て支援策を充実させていくことは、とても必要なことだが、対象となる子どもたちが多ければ多いほど効果を発揮すると思う。そこで、子育て世帯の定住策・移住策などをどのように考えているのか伺う。	市 長 教育長
-----	---	---------	--	------------